

大連事務所だより

公益社団法人宮城県国際経済振興協会
大連事務所
116001 遼寧省大連市中山区人民路 15 号
国際金融大廈 13 層 C

No.34 平成 30 年 7 月 10 日 発行

問合わせ先

目次	主な事業内容	1
	事務所トピックス	1
	大連ニュース	3

TEL : 86-411-8250-7426
FAX : 86-411-8250-7439
E-mail : gb-dalian@miyagi-dalian.com
URL : http://miyagi-dalian.com

主な事業内容

2018（平成 30）年 1 月から 6 月まで実施した主な事業を紹介します。

= 1 月 =

- ・深圳教育旅行誘致事業（深圳）

= 3 月 =

- ・上海ビジネス交流会参加（上海）
- ・大連理工大学訪問（大連）

= 4 月 =

- ・大連市旅順口区視察（大連）

= 5 月 =

- ・大連国際工業博覧会参加（大連）
- ・アカシア祭り・中日観光大連ハイレベルフォーラム・北前船寄港地フォーラム参加（大連）

= 6 月 =

- ・北京国際旅游博覧会（BITE2018）参加（北京）

また、次のような活動を行いました。

- 中国現地企業や関係機関等の訪問、来所対応
- 県内企業・団体のニーズ調査や情報収集提供
- 中国との交流促進のための資料翻訳や内容確認などの支援
- 労務関係などに関するセミナーへの参加

大連事務所では
「微博」で観光
情報を配信中！



事務所トピックス

事業内容からトピックを 3 つ紹介します。

トピック 1

「大連国際工業博覧会」に参加

5 月 24 日（木）から 26 日（土）まで大連世界博覧広場で開催された大連国際工業博覧会に県内企業の皆さまと参加しました。

この博覧会は今年で 20 回目を数え、中国の各都市のほか、日本、韓国、アメリカ、ドイツなど 10 か国から工業関連の企業約 600 社が参加する大きなイベントとなっています。

会場内では大型の機械なども展示され、各企業がそれぞれの技術を積極的に PR し、熱心な商談が繰り広げられました。



県内企業のブース



来場者への説明



機械の展示状況

ムのパネルディスカッションにおいて宮城県の概要や観光資源について紹介しました。



副市長への表敬訪問

トピック 2

「大連アカシア祭り・中日観光大連ハイレベルフォーラム」が開催されました

第 29 回大連アカシア祭りに併せて、5 月 27 日（日）、28 日（月）に「中日観光大連ハイレベルフォーラム」が開催されました。

今年は、このフォーラムと同時に「北前船寄港地フォーラム大連大会」が開催されました。北前船寄港地フォーラムは、江戸時代に実際に使われていた日本海の海上交易ルートを復活させ、さらなる交流を活発化させることを目指して民間と地方自治体が共同で開催しているもので、これまで日本国内の寄港地の各都市で開催されてきましたが、今年初めて海を渡り大連で開催されることとなりました。

このため、今年のフォーラムには日本各地から大勢の方が参加し、フォーラムに先立って開催されたレセプションには 1000 名に及ぶ参加者が集まりました。



日本各地からの参加者が一堂に会したレセプション

宮城県からは高砂国際経済・観光局長が出席し、大連市の郝副市長を表敬訪問したほか、フォーラ



高砂局長によるパネルディスカッション

トピック 3

「北京国際旅游博覧会」で宮城を PR

6 月 15 日（金）から 17 日（日）まで北京市で開催された「北京国際旅游博覧会（BITE2018）」において、自治体国際化協会（クレア）北京事務所が設置した共同ブースに参加し、宮城県の PR を行いました。

ブースには日本への旅行に関心の高い来場者が次々に訪れ、パンフレットを見ながら観光地に関する問い合わせをいただきました。

また、ブース内にフィギュアスケートの羽生結弦選手による観光 PR ポスターを掲示したところ、たくさんの羽生選手のファンが来場し、ポスターの写真を撮影していきました。

ファンの方々は「今度ぜひ宮城県に旅行したい」という方から「これまでも何度も宮城を訪れ、羽生選手の縁（ゆかり）の地めぐりをしている」という方まで様々でしたが、皆さん宮城県への関心が高く、羽生選手の活躍が宮城県への観光客増加につながっていることを実感させられました。

また、この旅游博覧会に先立ち、6月14日（木）には日本政府観光局（JNTO）北京事務所主催による観光商談会が開催されました。

商談会には数多くの旅行社が参加し、宮城県のコーナーでは具体的な観光資源に関する質問などが寄せられました。



宮城県コーナーと観光ポスター



来場者に宮城県をPR



羽生選手のポスターを写真撮影

大連のイノベーションモデル区

今年5月に「大連市国家イノベーションモデル区3カ年行動計画における2018年推進法案」が発表されました。この中で大連市は2018年中にハイテク企業150社、中小の科学技術型企业3000社を新設し、一定規模以上の工業総生産額に占めるハイテク産業の生産額割合を65%以上、設備製造業の販売収入額に占めるハイエンド設備製造業の収入額を33%とする目標を打ち出しました。

このため市では未来発展型、先導型の産業に注力し、人工知能関連産業、精密化学工業、先進設備製造業、クリーンエネルギー産業の拡大を目指しています。

このうち、人工知能分野では、大連理工大学と大連ハイテクパークと連携し、開放型的人工知能研究院を建設し、国内外の重点的な研究機関や企業とのさらなる協力のもと、人工知能に関するイノベーションを支える基礎を構築することとしています。

また、クリーンエネルギー分野では、国家実験室の建設を進め、燃料電池・水素エネルギー技術国家プロジェクト研究センターなどのイノベーションプラットフォームの構築を進めることとしています。先進技術の成果を積極的に応用し、電動自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車の開発を加速化することを目指しています。

こうした新しい産業のさらなる発展を目指した取り組みを進めることによって、大連市はもとより中国全体の経済構造がどのように変化していくのかが注目されています。

編集後記

先日出張で丹東市を訪ねました。大連市に隣接している丹東市ですが、いざ行くとすると高速鉄道を使っても片道2時間以上！隣の市に行くのと仙台ー東京間の移動が同じくらいということで、あらためて中国の広大さを感じました。

中朝国境を有する丹東市には、川の向こうが外国という不思議な魅力のある風景がありました。

(L X)